科目名称	在宅看護方法論Ⅰ（地域連携）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年 後期	1	30
担当教員	大北米香	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

地域包括ケアシステムを理解し、対象者を尊重した在宅看護を展開するために必要なチームケア・倫理的課題・リスクマネジメント・在宅看護過程の基本的な知識を学ぶ。事例演習を通して、個別的な在宅看護過程の展開を行う基礎的能力を身につけるとともに、自己の在宅看護観を培う。

【2】 学習目標

1. 在宅におけるチームケアに関わる他職種とその連携・協働について説明できる。
2. 在宅におけるチームケアの意義と看護の役割について説明できる。
3. 在宅看護における倫理的課題の内容と、各課題に関係する法律や制度について説明できる。
4. 実際の事故事例から在宅看護におけるリスクマネジメントの視点と予防方法について考えることができる。
5. 在宅看護における感染予防について説明できる。
6. 災害時および災害に備えての在宅看護の要点について説明できる。
7. 在宅看護過程展開の要点を説明できる。
8. 在宅主要疾患の紙上事例について、在宅看護介入時期別特徴を踏まえて在宅看護過程の展開ができる。
9. 在宅看護過程の演習を通して、対象者のQOLや倫理面を考慮した在宅看護について自己の考えを述べることができる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	地域包括ケアシステム　　継続看護	講義
2	地域における多職種、多機関との連携・協働	講義
3	在宅看護における権利保障(1)	講義
4	在宅看護における権利保障(2)	講義
5	在宅療養上のリスクマネジメント(1)	講義・演習
6	在宅療養上のリスクマネジメント(2)	講義・演習
7	在宅療養上のリスクマネジメント(3)	講義・演習
8	在宅看護過程の展開の基礎	講義
9	在宅事例に沿った看護過程の展開（個人演習）	演習
10	在宅事例に沿った看護過程の展開（グループワーク）	演習
11	在宅事例に沿った看護過程の展開（グループワーク）	演習
12	在宅事例に沿った看護過程の展開（グループワーク）	演習
13	在宅事例に沿った看護過程の展開（グループワーク）	演習
14	在宅事例に沿った看護過程の展開（グループ発表・まとめ）	演習
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験 75%，演習への取り組み状況 15%，提出課題 10%で総合的に評価する。

【6】 教科書

系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護論 2　地域・在宅看護の実践（第 6 版）医学書院　2022

【7】 参考書

一般社団法人 全国訪問看護事業協会 編：訪問看護の安全対策（第 3 版）日本看護協会出版会　2017
押川眞喜子・坂本史衣 ：これだけは知っておきたい！在宅での感染対策（訪問看護のための基本と実践）（第 1 版）日本看護協会出版会　2008
河野あゆみ 編：強みと弱みからみた在宅看護過程（第 1 版） 医学書院　2018

臺 有桂 他編：ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア（第 7 版）メディカ出版 2022
池西静江編：看護学生スタディガイド 2022（第 8 版）　照林社　2021

【8】 受講生へのメッセージ
事例を通して在宅看護における地域連携、リスクマネジメント、看護過程の考え方を学びます。